



社屋外観

国内外販路拡大に向けた、自動洗浄システム導入による充填機の 洗浄能力強化・安定化及び洗浄時間短縮・省人化による生産性の向上



実施した事業の概要と成果

当社は、農場、加工場を有し88品目に上る有機JAS認定食品を製造販売している。近年国内外からの問い合わせが増えており高速充填機を導入し国内外の需要に対応しているが、海外展開においてはアレルギー対策が必須となっている。そこで充填機の自動洗浄システムを導入した生産ラインを構築して解決を図った。

自動洗浄システム導入で洗浄能力が強化・安定化され、洗浄不良や二次汚染がなくなったことで安全性が向上し、海外のアレルギー対策要望への対応が可能となった。また、従来の手洗浄から自動洗浄へ変わったことにより、洗浄作業の効率改善はもとより品種切換えの制限がなくなり、生産効率が大幅に改善された。



自社農園 有機ゆず



導入設備：自動洗浄システム



製品開発や課題解決の具体的取組み

海外販路拡大に力を入れていく中、有機食品を扱う海外顧客からのアレルギー対策に対する要望に応えることが課題であり、自動洗浄システムの導入で解決を図った。

当社で生産するソース類やドレッシングなどの生産ラインにおいて、生産品種の切換え時の充填機の洗浄は手作業で行っていたため洗浄不良や汚染の危険があった。

自動洗浄システム導入により機器類を分解することなく洗浄することができるようになったため、洗浄不良や組立時の汚染がなくなり、品質・安全性が向上したことで海外輸出に向けた生産体制を整える事ができた。

また、最大5時間を要していた手作業による分解洗浄の手間がなくなったことや、生産品種切換え順の制限がなくなったことで生産効率が大幅に改善し、生産人員の有効活用にも効果があった。



海外向け提案商品例：和風調味料、有機ゆず果汁

事業者	光食品株式会社
代表者	代表取締役社長 島田 光雅
設立年月	昭和26年
所在地等	〒770-0004 徳島県徳島市南田宮3丁目4番25号 TEL：088-637-6123 FAX：088-637-6166 http://www.hikarishokuhin.co.jp
事業区分	ものづくり技術
資本金額	1,920万円
従業員数	23人
業種	ソース製造業、その他の調味料製造業

光食品株式会社 の

代表取締役社長

島田 光雅



本事業取組みへのきっかけと目的

近年海外から有機商品の供給希望が数多く寄せられるが、顧客が要望するアレルギー対策商品は現有設備では対応できない。そのため新たに自動洗浄システムを導入し、品質・安全性の向上と生産の高効率化を図ることで要望に応え、海外輸出に向けた展開を可能とする。

今後の展望と活動予定

ドイツやアメリカでの展示会参加により新たな取引が始まっており、今後も海外との取引を積極的に行い、現状比5%以上の増産、および5～10%の売り上げ増を目指す。